

提案を かたちにするために。

海士町をよくする24の提案はいかがでしたか？興味をもったものはありましたか？これらを実際にかたちにしていくためには、みなさんの参加と協力が必要です。では、具体的に今後どのようにまちづくりが進められるのか、ご紹介したいと思います。

Step

1

「第四次海士町総合振興計画別冊」の説明会を開催します。
各地域での町政座談会等に役場の担当者と海士町の未来をつくる会のメンバーが赴き、この本のあらましや活用方法、それぞれの提案の具体的な説明を行います。

Step

2

家に帰ったら、この本をよく読んでもらい、まずは「ひとりでできること」の中から、自分の興味のある活動を始めてみたり、家族やお友達と話題にしてみてください。

Step

5

提案を実際に動かすには、
どんなことをしなくてはいけないのか考えます。
支援してくれる組織や相談できる人に
会ったりして、具体的な活動に入ります。

Step

4

町民のみなさんは、興味のある提案があったら、
それぞれの担当課が催す会合に参加します。

Step

3

海士町役場のそれぞれの担当課が、
「海士町総合振興計画」をもとに実施計画を作成、
予算の申請をします。
予算がついたものから、それぞれの具体的な
活動を住民へ説明し、参加者を募集します。

役場のリーダーと 相談・支援の窓口。

提案	役場のリーダー	+	支援・相談
01 歩いて暮らそう	健康福祉課	+	総務課、教育委員会 海士交通
02 天職を見つけよう	教育委員会	+	産業創出課 中央公民館(図書館司書)
03 海士の味をうけつごう	健康福祉課	+	教育委員会、婦人会 各地区公民館、老人クラブ
04 もっと水を大切に！	生活環境課	+	建設課、教育委員会
05 もったいない市場	生活環境課	+	教育委員会、清掃センター
06 エネルギーを見直そう	生活環境課	+	建設課、教育委員会 森林組合
07 海士人宿につどおう	教育委員会	+	産業文化祭出店グループ 海士交通、商工会 観光協会
08 ガキ大将を育てよう	教育委員会	+	むかしのガキ大将
09 あまさん倶楽部	地産地商課	+	健康福祉課
10 海士ワーキング ホリデー事業	地産地商課	+	教育委員会、漁協、農協
11 ワゴンショップ海士号	地産地商課	+	商工会、ひまわり NPO法人海士人
12 おさそい屋さんになろう	健康福祉課	+	社会福祉協議会(地域福祉部) 教育委員会

提案	役場のリーダー	+	支援・相談
13 ちいさな農のある暮らし	地産地商課	+	産業創出課、交流促進課 生活環境課、森林組合
14 炭焼きクラブ「鎮竹林」	地産地商課	+	建設課 炭焼きクラブ「鎮竹林」
15 AMA情報局を開局しよう	産業創出課 交流促進課	+	総務課、教育委員会 海士町で情報発信する 媒体を企画・編集できる人
16 欲しいものは島でつくる	地産地商課	+	一次産業に携わる人 ものづくりが好きな人 主婦
17 支えあって暮らそう	健康福祉課	+	社会福祉協議会、諏訪苑
18 地域に「ただいま」を 言おう	健康福祉課	+	教育委員会 社会福祉協議会、各地区
19 里山・里海をつくろう	産業創出課	+	建設課、森林組合 漁協
20 みんなで学ぶ島のエコ	教育委員会	+	生活環境課、健康福祉課 あま環境ネットワーク 保育園～高校までの 教育機関
21 地域が支える学校づくり	教育委員会	+	保育園～高校までの 教育機関、地区公民館 各地区、NPO法人海士人
22 魅力ある島前高校を つくろう	教育委員会	+	島前三町村、海士町の 小学校、中学校、島前高校
23 海士大学に入学しよう	教育委員会	+	観光協会、中央公民館
24 海士まちづくり基金	すべての課	+	教育委員会、海士町の 未来をつくる会の参加者

アイデアをかたちにする 5つのステップ。

まちづくりとは、住民と行政、事業者が協力し、地道な活動の末に結ばれた「ちいさな成功」です。そのちいさな成功が積み重なって、はじめて大きな制度改革や条例制定につながっていきます。この本にない新たなアイデアを思いついたら、提案書に書いて提出してください。用紙は最後のページにあります。あなたの参加を待っています！

1 できない理由探しをせず、できるための条件探しをしましょう。

日本各地ですぐれた活動が生まれ、成果をあげています。「できない」「やらない」理由を探すのではなく、各地の先進的な活動から学びましょう。

2 「できることから始めよう」から「できることを広げよう」へ

できることから始めようのはずが、いつのまにか「できることだけやりましょう」になっている場合があります。経験を重ね、仲間を増やし、できることを広げていくことが大切です。

3 「～しなければならぬ」ではなく「～しよう」型の活動をしましょう。

がまん、しんぼうばかりを求めては誰もついてきてくれません。「わたしたちにはこんなことができる！」というアイデアが盛り込まれた提案をたくさん出してください。

4 白黒つけることが目的ではない

白か黒か、どちらが正しいのかではなく、地域の問題解決にはこれまで思い浮かばなかった第3の活動方策が求められています。それぞれの立場への深い理解と共感が必要です。

5 みんなに喜ばれる活動をつくりだそう

特定の団体や人ばかりが負担を背負い込む活動は、長続きしません。活動に関わる人たちがみんながメリットを得るしくみを、地に足をつけてしたたかに築いていく必要があります。

記入例

送信先 海士町教育委員会 地域共育課 FAX番号 08514-2-1633

海士町まちづくり提案書

1 申請団体	
チーム名	あま農園倶楽部
ふりがな	あま さざえ
代表者 氏名	海士 サザエ
住所	海士町中田
連絡先	08514-0-12
団体構成人数	5人
2 活動内容	
活動のテーマ	みんなが集える菜園
活動の目的	菜園づくりを通じて、持続可能な食生活の学習を促す。また、収穫物を一緒に食べることで、海士の文化を共有する。
具体的な効果	<ul style="list-style-type: none"> 野菜や果物の収穫ができる。 環境にやさしい農業技術が習得できる。 菜園を媒体とした仲間づくりが実現できる。
年間の活動計画	6月 東屋づくり 7月 東屋完成、昼食会の開催 9月 勉強会①（肥料を学ぶ） 10月 勉強会②（秋冬野菜の混植を学ぶ） 11月 収穫祭・昼食会の開催 12月 勉強会③（土づくりを学ぶ） ※1回共同作業の日を設け、持ち寄りの昼食をいただく。 ※その他の日は、会員がそれぞれ時間のある日に参加する。
活動体制	主婦4名が中心となったあま農園倶楽部事務局を担う。参加者は広報や島内放送で募集する。海士町で有機農業に取り組むAさん、Bさん、Cさん、Dさん。
協力団体	地産地商課、島根県農業振興センター
協力者氏名	海士三郎（地産地商課）
現在までの活動	現在までは、各家庭の庭で各自菜園づくりをしていました。
3 意気込み	
活動への意気込み 区分けされた農地を借りるのではなく、会員のみなさんと一緒に農作業をする楽しみが生まれる。農作業をすることで、環境にやさしい農について理解を深めることができ、収穫を一緒に食べることで、さらに絆を深めていくことができます。とされるこの活動は、畑を媒介に住民どうしの絆を深めるものとして、ぜひ海士町でも実践してみたいです。	

活動内容がひと目でわかるようなテーマをつけましょう。

海士町や住民にとってどんな効果や成果が期待できるのかを具体的に書きましょう。

月ごとに何をやる予定なのかを書きましょう。また、どのような打ち合わせをするのかも書きましょう。最後の月には報告書の作成と決算書の作成が必要です。忘れずに書きましょう。

一緒に活動するメンバーの名前と所属を書きましょう。メンバーの半分は海士町の住民であることが条件です。

今までどんな活動をしてきたのかについて書きましょう。

自由記入欄です。活動に対する意気込みや思いを書きましょう。

※書きあがった提案書の提出方法
海士町教育委員会地域共育課までお持ちいただくか、島内各地に設置した「まちづくり提案書ポスト」または、郵便、FAXでお送りください。

海士町総合振興計画本編との対応表

別冊	本編との対応
01 歩いて暮らそう	施策2 人間力を育む教育の推進 本編 P33 施策38 里山づくりの推進 本編 P38 施策18 健康づくりと生きがいつづくりの推進 本編 P41 施策31 災害に強い島づくりの推進 本編 P48 施策29 島内の移動手段の利便性と合理化の推進 本編 P51 施策45 環境に配慮した生活道路の整備の推進 本編 P52
02 天職をみつけよう	施策12 ものづくりに携わる人材育成の推進 本編 P37
03 海士の味をうけつごう	施策2 人間力を育む教育の推進 本編 P33 施策18 健康づくりと生きがいつづくりの推進 本編 P41
04 もっと水を大切に！	施策43 安心して使える水道水の供給の維持 本編 P47
05 もったいない市場	施策6 誰もがいつでも学べる環境の創出 本編 P34 施策11 限りある資源を有効に活用したもののづくりの推進里山づくりの推進 本編 P37 施策41 ゴミの減量化の推進 本編 P46
06 エネルギーを見直そう	施策38 里山づくりの推進 本編 P38 施策6 誰もがいつでも学べる環境の創出 本編 P34
07 海士人宿につどおう	施策2 人間力を育む教育の推進 本編 P33 施策6 誰もがいつでも学べる環境の創出 本編 P34 施策7 交流を通したひとづくりの推進 本編 P35 施策8 文化活動の推進と地域文化の継承 本編 P35 施策12 ものづくりに携わる人材育成の推進 本編 P37 施策17 島の内外とのネットワークによる新たな産業の創出 本編 P40 施策23 地域で子どもを育てるための支援体制の充実 本編 P43 施策24 安心して子どもを産むことができる環境の整備 本編 P44
08 ガキ大将を育てよう	施策1 島まるごと連携教育の推進 本編 P32 施策2 人間力を育む教育の推進 本編 P33 施策3 地域と連携した環境教育の推進 本編 P33 施策5 地区公民館活動の推進 本編 P34 施策6 誰もがいつでも学べる環境の創出 本編 P34 施策7 交流を通したひとづくりの推進 本編 P35 施策23 地域で子どもを育てるための支援体制の充実 本編 P43
09 あまさん倶楽部	施策11 限りある資源を有効に活用したもののづくりの推進 本編 P37 施策13 加工業の育成と流通体制の整備 本編 P38 施策16 生産者の顔の見える供給体制の推進 本編 P40

別冊	本編との対応
10 海士ワーキングホリデー事業	施策12 ものづくりに携わる人材育成の推進 本編 P37 施策13 加工業の育成と流通体制の整備 本編 P38 施策14 地域が主体となった特色ある観光の推進 本編 P39
11 ワゴンショップ海士号	施策13 加工業の育成と流通体制の整備 本編 P38
12 おさそい屋さんになろう	施策5 地区公民館活動の推進 本編 P34 施策19 生活習慣病の予防と介護予防の推進 本編 P41 施策21 地域内外の住民の支えあいの推進 本編 P42 施策22 介護福祉サービスの充実 本編 P42 施策25 障がい者が安心して生活できる環境づくりの推進 本編 P44
13 ちいさな農のある暮らし	施策10 資源を育む生産基盤づくりの推進 本編 P37 施策11 限りある資源を有効に活用したもののづくりの推進 本編 P37 施策45 環境に配慮した生活道路の整備の推進 本編 P52
14 炭焼きクラブ「鎮竹林」	施策10 資源を育む生産基盤づくりの推進 本編 P37 施策11 限りある資源を有効に活用したもののづくりの推進 本編 P37 施策38 里山づくりの推進 本編 P38
15 AMA情報局を開局しよう	施策8 文化活動の推進と地域文化の継承 本編 P35 施策14 地域が主体となった特色ある観光の推進 本編 P39 施策16 生産者の顔の見える供給体制の推進 本編 P40 施策35 広報紙の充実 本編 P55
16 欲しいものは島でつくる	施策16 生産者の顔の見える供給体制の推進 本編 P40
17 支えあって暮らそう	施策21 地域内外の住民の支えあいの推進 本編 P42
18 地域に「ただいま」を言おう	施策20 福祉に対する意識の醸成 本編 P42 施策23 地域で子どもを育てるための支援体制の充実 本編 P43
19 里山と里海づくり	施策10 資源を育む生産基盤づくりの推進 本編 P37 施策38 里山づくりの推進 本編 P38
20 みんなで学ぶ島のエコ	施策3 地域と連携した環境教育の推進 本編 P33 施策6 誰もがいつでも学べる環境の創出 本編 P34 施策8 文化活動の推進と地域文化の継承 本編 P35 施策41 ゴミの減量化の推進 本編 P46 施策42 廃棄物の循環について考える環境教育の推進 本編 P46
21 地域が支える学校づくり	施策1 島まるごと連携教育の推進 本編 P32 施策2 人間力を育む教育の推進 本編 P33
22 魅力ある島前高校をつくろう	施策4 魅力ある島前高校づくりの推進 本編 P33
23 海士大学に入学しよう	施策6 誰もがいつでも学べる環境の創出 本編 P34 施策7 交流を通したひとづくりの推進 本編 P35
24 海士まちづくり基金	施策36 住民参加のまちづくりの推進 本編 P55

この本ができるまで。

2008年 4月23日	第1回海士町の未来をつくる会（全体会議） ・第4次海士町総合振興計画策定にあたってのチーム分け
5月12日 ～15日	第2回海士町の未来をつくる会（各チームの会議） ・海士町の理想の10年後について考える
6月19日 ～23日	第3回海士町の未来をつくる会（各チームの会議） ・海士町の魅力と悩みを考える
7月7日 ～12日	第4回海士町の未来をつくる会（各チームの会議） ・悩みを解決するための方法について語りあう
7月10日 ～13日	第1回勉強会（各チームの有志） ・各チームの進捗状況を報告 ・計画全体のテーマを考えよう
7月24日	第2回勉強会（各チームの有志） ・人口減少社会を知ろう ・各チームの問題を共有する
7月28日 ～31日	第5回海士町の未来をつくる会（各チームの会議） ・海士町の未来のために「私がしていること」「私がしたいこと」 「みんなでしなければならないこと」を整理する
8月30日 ～31日	第3回・4回勉強会兼合宿（各チームの有志） ・チームごとに重点事業を考える ・全体で重点事業を考える ・計画全体のテーマ案を考える
9月1日 ～5日	第6回海士町の未来をつくる会（各チームの会議） ・チームごとに重点的に取り組みたいことをまとめ、取り組み方法 などを考える（アイデアを出し合う）
9月16日 ～19日	第7回海士町の未来をつくる会（各チームの会議） ・チームごとに重点的に取り組みたいことを絞り込み、提案シートにまとめる
9月23日	第1部 最終報告会（一般公開） ・海士町の未来へ向けた各チームからの提案を発表 ・計画全体のイメージと今後についての意見交換
	第2部 第1回策定委員会 （各チームの代表4名、各課長ら） ・各チームの提案と各課の取り組みに関する意見交換

10月9日	第2回策定委員会 ・各チームの重点事業と担当課の意見交換（ワールドカフェ方式）
10月20日 ～22日	各課別ワークショップの開催 ・計画策定の進捗状況説明 ・各チームからの提案を紹介 ・各課の取り組んでいる事業と今後取り組みたい事業の整理
10月26日	産業文化祭で総合振興計画の取り組みを発表 ・総合振興計画の説明 ・環境チームが寸劇を交えて提案を発表
11月6日	第3回策定委員会 ・基本構想(政策、理念、テーマ)についてチームごとに話し合う ・基本構想案をまとめる
11月25日 ～26日	第4～5回策定委員会 ・総合振興計画の全体を通読し、協議する ・計画全体のテーマを決める
11月27日	総合振興計画案を町長へ提出 ・策定委員会がまとめた総合振興計画案を町長に提出
12月3日	第1回審議会 ・総合振興計画策定に関する諮問 ・会長、副会長の選出 ・総合振興計画の策定経緯の説明 ・基本構想、基本計画の説明 ・意見交換
12月9日	第2回審議会 ・修正箇所の確認 ・答申にあたっての意見まとめ
12月10日	町長への答申 ・審議会の結果を答申
12月20日	定例議会 ・第四次海士町総合振興計画を提出、議決を得る
2009年 2月6日	実施計画作成のための各課ヒアリング ・総合振興計画に基づく実施計画の作成
2月8日 ～11日	ひとチーム、環境チームの視察 ・ひとチームと環境チームの提案に関する大阪、徳島への視察の実施
3月8日 ～11日	産業チーム、暮らしチームの視察 ・産業チーム、暮らしチームの提案に関する瀬戸内海への視察の実施
4月	第四次海士町総合振興計画発行

海士町の未来をつくる会メンバー

人チーム

- ◎ 岩本 悠 大脇 政人 山斗 隼人 勇木 史記
- 中村 誠 花岡 美近 波多 誠 石倉 功
- 小田川 啓子 高橋 政成 片桐 憲一 滝本 博

産業チーム

- ◎ 平田 昌由 岩本 桃子 岡本 久子 山崎 敏光
- 石井 千里 宇野 千枝子 本多 美智子 信岡 良亮
- 渡辺 祐一郎 宮崎 雅也 濱中 香理
- 山岡 真幸 松田 修一 扇谷 政弘

暮らしチーム

- ◎ 小澤 房範 澤谷 あゆみ 佐々木 裕之 後藤 隆志
- 淀 晋作 高野 清華 木村 理恵 亀谷 潔
- 保野 昌和 片桐 一彦 花房 育美

環境チーム

- ◎ 田口 啓 永原 弘之 井上 さやか 藤田 まゆみ
- 阿部 裕志 豊政 幸司 真野 和男
- 宇野 貴恵 波多 紀昭 磯谷 光司
- 山内 弘行 城之内 直也 下野 裕

◎ リーダー ○ 副リーダー

第四次海士町総合振興計画策定事務局

吉元 操 海士町教育委員会 課長
松前 一孝 海士町教育委員会 課長代理

冊子製作

統括ディレクター 山崎 亮 (株式会社studio-L)
編集・文 西上 ありさ (株式会社studio-L)
岡崎 エミ (株式会社studio-L)
イラスト クリハラ タカシ
デザイン 神庭 慎次 (株式会社studio-L)

海士町まちづくり提案書

1 申請団体

チーム名	
<small>ふりがな</small>	
代表者 氏名	
住所	
連絡先	
団体構成人数	

2 活動内容

活動のテーマ	
活動の目的	
具体的な効果	
年間の活動計画	
活動体制	
協力団体	
協力者氏名	
現在までの活動	

3 意気込み

※書きあがった提案書の提出方法
海士町教育委員会地域共育課までお持ちいただくか、島内各地に設置した「まちづくり提案書ポスト」または、郵便、FAXでお送りください。

キリトリ

第四次海士町総合振興計画 別冊 2009-2019

海士をつくる24の提案

2009年4月1日 発行

発行 海士町

島根県隠岐郡海士町大字海士1490番地
Tel. 08514-2-1221(海士町教育委員会)

協力 海士町の未来をつくる会

印刷 株式会社データワークス



この冊子の印刷には、環境にやさしい大豆油を主成分としたインキを使用しております。
この冊子の用紙には、非木材を使用しております。